

全司法労働組合青年協議会発行「時の窓は、青年みんなに配りましょう」



ときのまど

時の窓

No. 250

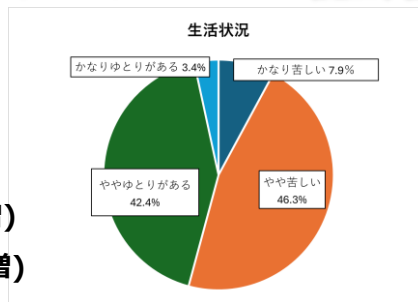


【青年協HP】
※時の窓バック
ナンバー掲載

暮らしむきアンケート結果発表~!!!

Q1あなたの生活状況はどうですか?

- 「かなり苦しい」7.9% (1.1pt増)
- 「やや苦しい」46.3% (3.3pt減)
- 「ややゆとりがある」42.4%(1.8pt増)
- 「かなりゆとりがある」3.4%(0.5pt増)



暮らしむきアンケートとは、青年協で毎年行っているアンケートのことで、青年の生活実態・職場実態を把握し、最高裁に改善を求めます。

生活が苦しい理由には、物価高や貯金できないことが挙げられた。「かなりゆとりがある」、「ややゆとりがある」と回答している青年も一定数いるものの、その理由として実家暮らしや節約していることを挙げる声も多かった。「自宅(実家)」以外であっても、「かなり苦しい」「やや苦しい」が少なくなるよう、引き続き取り組んでいく必要がある。逆に、民間住宅(賃貸)の方のうち、「かなり苦しい」と答える方は9.2%、「やや苦しい」と答える方は50.6%にもなった。私(筆者)は民間住宅(賃貸)で例に漏れず「かなり苦しい」と感じている。

Q3家計における支出のうち負担感が大きいもの

- 「住居関係費」62.2% (2.2pt減)
- 「食費」(50.9% (0.5pt減))
- 「税金」(48.3% (1.9pt増))
- 「水道光熱費」(31.9% (12.5pt減))

設問を設定した2016年以降、「住居関係費」は8年連続で最も高く、今年も6割以上の青年が、負担感が大きいと感じている。

昨年と同様に物価高の影響で「食費」への負担感は変わっていない。「税金」に関しては、アンケート開始以来、負担と感じる青年が増加傾向にある。

Q6 諸手当に関して改善してほしいもの

- 「住居手当」63.6% (3.7pt減)
- 「宿日直手当」50.0% (3.6pt増)
- 「地域手当」37.9% (1.7pt減)



一番多いのが住居手当で、直近5年ではすべて6割以上の方が改善を求めている。

特に「宿日直手当」については直近5年のなかで一番改善を求める声が多かった。これは、青年の宿日直に対する負担感とそれに対する手当が見合っていないという考えなので、青年層の不満に今後いつそ目を向ける必要があると思われる。

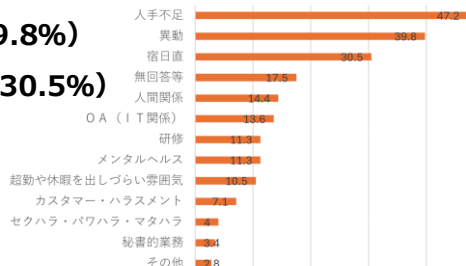
今回のアンケートでは「生活が苦しい」という回答や「手当の改善を求める」というような回答は前年より減少した。筆者の分析としては、アンケート時期に給与改定による臨時収入が入ったことが影響したのではないかと思う。2024年のアンケートはより母数を増やし計測していくことで実際には今回の賃上げが生活実態に見合った賃上げだったのか見えてくると考えている。(暮らしむきアンケート担当常任委員・前島一仁)

職場で不満がある、改善して欲しい点はありますか？

1位 人手不足 (47.2%)

2位 異動 (39.8%)

3位 宿日直 (30.5%)

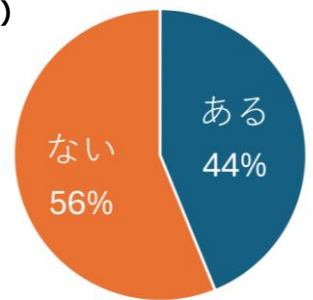


人手不足が4年連続で1番多い結果となりました。業務量と職場の人員数が見合っていない、その上で育休・病休が発生し、そのまま手当がなされず、より繁忙となってしまう声が寄せられました。また、アンケート開始以来初めて「メンタルヘルス」の項目が2桁となりました。人員不足とメンタル不調の悪循環が懸念されます。



これまでに転職を考えたことはありますか？

考えたことがある (43.5%) 転職を考えたことが
考えたことがない (55.7%)



その理由はなんですか？

仕事内容 (55.8%)

給与 (52.6%)

異動・勤務地 (50.6%)

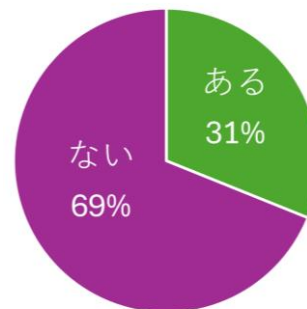
テレワーク等の柔軟な働き方ができないなど、「仕事内容」が不満であると答えた人が一番多い結果となりました。「給与」「異動・勤務地」の割合も5割を超えており、貴重な若手の人材の流出防止のために、青年が安心して働ける環境にすべく交渉を続けていきます。

2023年度ただ働き残業をした事がありますか？

したことがある (31.1%)

したことがない (68.4%)

サービス残業をしたことが



その理由はなんですか？

職場の雰囲気 (35.5%)

早朝・昼休み・休日のため (30.9%)

申し忘れた (24.5%)

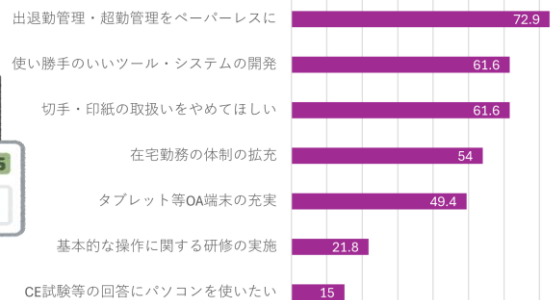
勤務終了後はもちろん、朝早く来て仕事をする場合なども超過勤務として申告できるものであるし、すべきものです。その意識が浸透していない、わかっているけど申告できない職場の雰囲気があるのは大きな問題です。最高裁も「サービス残業や持ち帰り仕事についてはあってはならない」と回答しています。また、「30分未満であったため申告しなかった」という声も一定数ありました。勤務時間の実態を記録する意味でも、時間の長短に関わらず、おこなった残業はきちんと申告しましょう。

デジタル化に対する要望を教えてください

出退勤・超勤管理をペーパーレスに (72.9%)

切手・印紙の取扱いの廃止 (61.6%)

使い勝手のいいツール・システムの開発 (61.6%)



ペーパーレス化や切手・印紙の廃止など今の時代にあった制度を柔軟に取り入れてもらいたい。また、NAVIUSの使いにくさや大規模な不具合に加え、RootSやTreeSの開発遅延なども起こっており、システムに対する不安の声は多くあります。せっかくのDX化の機会ですので、利用者はもちろん職員のニーズに沿ってDX化を進めてもらいたいと思います。

(暮らしむきアンケート担当常任委員・加治亮達)